



### 第7回総会・記念演奏会・懇親会 長野で開催

令和5年(2023年)9月9日(土)正午～15時 於: ホテル・メトロポリタン長野 3階大宴会場「浅間」

出席者は、舎友43名(長野県内から26名、首都圏から16名、奈良県から1名)に招待の寮生1名、ご来賓の仁科恵敏様(仁科圭右北信支部事務局長の父君、尺八奏者)の総勢45名であった。受付開始11時30分、続々と出席者が集まってきた。来場者は受付で参加費を払い、名札、総会資料、会報「武蔵野」第13号、信陽舎パンフレット、第五代目当主として舎友が経営する酒蔵・高橋助作酒造店の紹介パンフレットと仁科圭右北信支部事務局長の会社(マルイチ産商)の美味しい缶詰セットのお土産を受け取って会場へ。

#### 【第7回舎友会総会】

総会開会時刻の12時、深澤克巳舎友会副会長の開会宣言、出席者数の報告後、議長に選出された林史典会長が議長席につき総会がスタート。まず決議事項として、福與事務局長から令和4年度事業報告と会計報告が、原誠監事から監査報告があり、審議の結果満場一致で承認された。続いて、令和5年度事業計画、事業予算を審議し、いずれも満場一致で承認された。報告事項では、各支部報告として、南信支部は池野兼浩事務局長、中信支部は竹村治恭幹事長、北信支部は田尻実幹事長が報告を行った。ひき続き、令和5年度寮生募集結果及び寮生活の近況並びに法人運営報告が福與理事長よりあり、12時25分、林史典議長の閉会宣言で第7回総会は無事終了した。



深澤克巳副会長開会宣言



議長・林史典会長



福與卓臣事務局長報告



#### 【記念写真撮影】

撮影者: 五島久揮 (176)



(後列) 池野兼浩・神藤駿介・吉村信二・大石晃也・朝日健治・田川洋介・後田健太郎・山崎達也・岩原優・竹村和也・今村行人・林高明・塚田泰史・伊東丈・牛山天陽・櫻井陽向・平出拓也  
(中列) 寺島裕一郎・山口章裕・青柳淳英・杉本研一・仁科圭右・遠山正信・深津徹・金田健治・原誠・中村克己・中村與志人・原鍊造・深澤勝吉・水上竜雄  
(前列) 五島久揮・小平国俊・浅沼弘愛・鈴木昭夫・片桐勝臣・神波潔・仁科恵敏・小林恵美子・林史典・牧内良平・福與卓臣・深澤克巳・竹村治恭・田尻実

# 総会開催報告

## 第7回総会・記念演奏会・懇親会 長野で開催



南信支部報告  
池野兼浩支部事務局長



中信支部報告  
竹村治恭支部幹事長



北信支部報告  
田尻美支部幹事長



### 【尺八と琴の記念演奏会】

12時30分、今回の記念イベントとして企画された「尺八と琴の演奏会」が田尻美北信支部幹事長の司会でスタート。尺八奏者は、仁科恵敏（にしなひろと）様、仁科圭右北信支部事務局長のお父様で尺八歴70年、尺八都山流の最高位「竹琳軒大師範」で、伝統ある「東京銀座くらま会」のメンバーにも名を連ねており、毎年新橋演舞場で開催される演奏会にも出演されている著名な尺八奏者である。仁科恵敏様は食品卸商社(株)マルイチ産商の名誉会長で、元長野商工会議所会頭も歴任された経済人でもあり、また、学校法人いづな学園の理事長として「子どもの森幼稚園」の運営を通じて、自然の中で子どもの感性を育むことの大切さを実践されている教育者でもある。琴の奏者は、小林恵美子様で琴生田流宮城社の大師範であり、公財・国際親善協会主催の2014年10月スイスの首都ベルンで開催された「ジャパンウィーク」で演奏されるなど琴の名手である。

先ず一曲目は、尺八だけの演目、「鹿の遠音（しかのとあね）」、鹿の鳴き声を表現した曲目で、鹿の親子・夫婦の愛情を表現した尺八の本曲で、晩秋の奥山深くで鳴く男鹿の声は谷にこだまし風に揺れて伝わる遠音が森閑とした秋の情景に物悲しく響き、諸行無常の世を想わせる尺八の音色は邦楽の素晴らしさを再認識させてくれた。2曲目は、尺八と琴の2重奏で、黒田長政が遣わせた母里友信（もりとものおぶ）を福島正則がもてなす宴席での様子を謳った福岡の民謡「黒田節」。宴席で黒田武士のメンツにかけて大盃の酒を飲み干し、福島正則が秀吉から賜ったという天下の名槍「日本号」を褒美として所望したという宴席の情景を見事に奏でた2重奏でした。3曲目は、江戸時代の古典楽曲「千鳥」で、浜辺に遊ぶ千鳥の様子を2重奏で奏でた。日露戦争の日本連合艦隊の一等巡洋艦「浅間」の艦長で秋山真之の上官・親友でもあり尺八の愛好家であった八代六郎が、ある海戦前夜、艦船の甲板上でひとり尺八を吹いていたという曲が「千鳥」であったとされている。以上、3曲の名演奏に感動した満場の拍手は鳴りやまず。出席舎友を代表し、牧内良平顧問が、「日本文化の伝統の素晴らしさを再確認させていただきました」とお礼の言葉を述べられた。



尺八の仁科恵敏様



名演奏にしみりと聞き惚れる参加者



尺八と琴の2重奏（琴の演奏は小林恵美子様）

### 【懇親会】

13時00分、仁科圭右北信支部事務局長の司会進行により懇親会の開宴となった。まずは、昨年12月29日に98歳でお亡くなりになった故・羽生玄子寮母さん並びに武蔵境寮以降でお亡くなりになられた69名の舎友のご冥福を祈って1分間の黙祷を行った。着席後、神波潔北信支部会長の歓迎の挨拶、林史典様の会長挨拶、牧内良平顧問の乾杯の挨拶と続き、13時20分、いよいよ懐かしい顔ぶれが再会を果たした楽しい懇親会が幕を開けた。



司会進行・仁科圭右  
北信支部事務局長



歓迎挨拶・神波 潔  
北信支部会長



会長挨拶・林 史典  
舎友会会長



乾杯挨拶・牧内良平  
舎友会顧問・前会長



出席者全員で 乾杯！

# 総会開催報告

笑顔！ 笑顔！ 懐かしさのあまり歳を忘れて無邪気に語り合う至福のひと時！



宴半ば、今年6月の定時評議員会終結をもって新たに就任した信陽舎の評議員が演壇に並び福興理事長より一人一人紹介された。つづいて、深澤克巳副理事長より役員（理事・監事）が紹介された。また、各テーブル（着席、ビュッフェスタイル）順に出席者の自己紹介が行われたが、会場は半世紀ぶりに再会した仲間などおいて、各テーブル入り乱れて盛り上がり、何ともにぎやかな宴席となり、あっという間に時は過ぎていった。

午後14時45分、原鍊造さんの音頭で寮歌と信濃の国の斉唱。午後14時55分、田尻実北信支部幹事長の閉宴の挨拶。15時00分、片桐勝臣顧問による三三七拍子の中締めがあり、大盛会の懇親会もお開きとなった。閉宴後は、同ホテル12階のラウンジ「ウラノス」での二次会に参加する者、新幹線で帰京する者、自動車に乗り合わせて南信方面に帰る者、善光寺参りに行く者など三々五々の解散となった。（福興記）

## ✉ 舎友便り ✉

### 転居通知

転居先住所は、個人情報保護のため表示を差し控させていただきます。連絡等で詳細をお知りになりたい方は、お手数ですが事務局までお問合せ下さい。

- 田中 淳一（470）：ようやく新居が完成し、先月引っ越しました。お近くにお寄りの際はぜひお立ち寄りください。〈滋賀県湖南市石部中央〉  
保坂 直人（595）：令和5年4月より勤務地の異動に伴い、茨城県土浦市に転居いたしました。大変恐れ入りますが舎友会報はこちらの住所にお送りいただければ幸いです。

### 訃報 ご冥福を！ 物故者 70名 (武蔵境寮以降)

- ❁ 鎮西 清高（舎友No.9 在寮期間1956～1958）さん 令和5年7月29日ご逝去。満90歳。  
令和5年9月19日舎友・宮川章義さん（No.14）より、奥様からご一報いただいたと連絡があった。  
鎮西清高さんは、武蔵境寮の1期生の最長老で地質学の権威として京都大学名誉教授でした。
- ❁ 塩澤 明（舎友No.230 在寮期間1972～1974）さん 令和5年8月6日ご逝去。  
令和5年8月12日に舎友の原 誠さん（No.220）よりご一報いただきました。塩澤 明さんは、膵臓ガンで療養中でしたが闘病むなしく8月6日に他界されたとのこと。

## 年賀状等による便り

- 長谷川廣子（M2）：謹賀新年 新しい年が穏やかな一年となりますよう心からお祈りいたします。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。
- 榊原 雅直（S3）：謹賀新年 素敵一年でありますように！今年も宜しくお願いいたします。
- 古島 史雄（47）：謹賀新年 今年もよろしくお祈りします。コロナはしぶといですね！応援に参集できず心苦しく思っています。
- 北原東亜夫（55）：新春のお慶びを申し上げます お元氣のことと思います。年齢と共にいろいろな意味で「ズクなし」になってきています。
- 久保田光昭（58）：謹賀新年 昨年は大変お世話になりましたありがとうございます。本年も変わらぬお付き合いをお願い申し上げます。
- 浜 國昭（65）：謹んで新年のお慶びを申し上げます 元日の能登半島地震、二日の羽田空港の事故、先行き不透明な年明けとなりました。82年（1～4歳の戦争時を除き）生き、こんな年明けは初の経験となりました。私事で恐縮ですが、高齢のため昨年の年賀状をもって「筆洗い」とさせていただきます。今後は電話等で対応させていただきます。悠々とはいきませんが自適に生活をしています。今年83歳、暇つぶしと時間稼ぎでインターネットにて政治に文句を言って過ごしています。皆様方のご健勝ご多幸を切に願っております。
- 小池 章（76）：謹賀新年 昨年中は大変お世話になりましたありがとうございます。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。
- 北原 靖久（81）：謹んで新春のお慶びを申し上げます 日々鶴見川散歩で生き延びています。
- 神波 潔（85）：明けましておめでとうございます 舎友会長野大会ではお世話様でした。信陽舎の発展を祈ります。
- 牧内 良平（91）：謹賀新年 モーツァルトの命日、12月5日未明。雪と底冷えのウィーンはシュテファン大聖堂。ピアニスト・反田恭平指揮の「レクイエム」が響きわたった。魂を揺さぶる楽曲に、85年の全人生の心を洗う思いで聴きほれた。妻が極寒を嫌いキャンセル、単身乗り込むことになった。でも、これがまた格別。ハプスブルク王朝640年の歴史の重みをかみしめながら街を闊歩し、得がたい視察になった。これを機に、今年からまた新たな人生を歩み始めようと決意しました。ご指導ご鞭撻を宜しくお願いします。
- 稲垣 勝司（95）：初秋の候 福與様には信陽舎舎友会の事務局として大変なご苦勞様でございます。長い間舎友会に在籍させて頂きお世話になりました。80歳も過ぎ身体もあちこち痛く、若い時のような動きも出来ず遠方への旅行にも何年も行っておりません。令和5年度の会費2,000円を同封し、この機を最後に退会させていただきます。長い間お世話になりましたありがとうございます。信陽舎舎友会の盛会をお祈りいたします。令和5年9月20日 長野県飯田市鈴加町 稲垣勝司
- 中田 篤（96）：謹賀新年 すばらしい一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。今年もどうぞ宜しくお願いいたします。
- 坂 好章（99）：頌春 ご無沙汰いたしておりますがお元氣ですか。私は、足腰の衰え防止にとスクワットを日課としており、一応？快調です。
- 池神 利勝（109）：謹賀新年 禁酒生活も2年目に・・・？皆様くれぐれもご自愛ください！
- 片桐 勝臣（110）：謹んで新春のお慶びを申し上げます 長引いたコロナ禍の下での引籠りがちの生活で、心身の老化が一層進んだ感じがします。今年は今行動範囲をもう少し広げなければ・・・と考えている次第！相変わらず宜しくお願いします。
- 五嶋 昭（112）：謹賀新年 ご挨拶が遅れて申し訳ありません。幸せいっぱい楽しい一年になりますように。くれぐれもご自愛ください。
- 小平 国俊（113）：Happy New Year 2024 昨年の舎友会本当に楽しかったです。またお会いしたいですね。健康な一年をお祈りします。
- 深澤 克巳（115）：謹賀新年 昨年は何かとお世話になりましたありがとうございます。今年も何卒よろしくお祈り申し上げます。
- 福田 璋夫（116）：あけましておめでとうございます 一年がアツという間に過ぎてしまいます。どうでもいいことを見つけて忙しく過ごしています。
- 土屋 雅敬（129）：謹賀新年 なにやかやと丸五年。歳相応傷んではおりますが元氣です。今年も復帰の年と思います。
- 原 鍊造（144）：謹賀新年 昨年の信陽舎の総会には大変お世話になりました。今後も元氣な限り出席させていただきます。
- 平沢 忠明（145）：謹賀新年 飯田高校同窓会報は、5月と11月に発行です。必要あれば、信陽舎のPRにご活用ください。
- 生嶋 正和（146）：謹賀新年 今年がより一層良いお年であります様お祈り申し上げます。
- 伊原江太郎（147）：謹賀新年 よい年となりますように！！
- 葛岡 龍夫（151）：新春のお慶びを申し上げます 皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。
- 鈴木 昭夫（154）：謹賀新年 皆様の幸多き年でありますよう心からお祈り申し上げます。
- 仲田 哲夫（155）：辰 本年もよろしくお祈りします。今年も平穩無事で一年過ごしたいと思っております。私は6月に喜寿を迎えます。
- 牧野 憲治（157）：明けましておめでとうございます 信陽舎の運営、365日、四六時中、真にご苦勞様です。本年も宜しくお願い致します。
- 松山 順治（158）：晩秋の候 お変わりなくお元氣にお過ごしのこととお察しいたします。さて、私、コロナ禍で外出もままならない時期、とある経緯で創作小説を書くことになりました。当初はほんとうにかけるのだろうか？と半信半疑でしたが、書き始めると意外にも筆が進み、書き終えると何だか愛おしくなって、無謀にも私家本の製作に至りました。紙に印刷されてできあがった本を手にとると、嬉しいような恥ずかしいような微妙な気持ちになりましたが、徐々に実感が湧いてきて感慨もひとしおです。同封にて送付いたしますので、ご笑覧ください。校正の行き届いていない箇所が多々ありますが、何卒お見逃し願います。なお、3月に兄が79歳で永眠いたしました。喪中につき新年のご挨拶を失礼させていただきます。よき年が訪れますようお祈り申し上げます。向寒の折、どうぞお身体ご自愛ください。令和5年11月7日



小諸・懐古園

（編集福與注：松山順治さんの私家本『雪垂り(ゆきしずり)』は本会報7頁の「舎友著作品紹介」欄にて紹介）

## 年賀状等による便り

- 伊藤 寿彦 (162) : 賀正 賀状をありがとう御座いました。 本年もよろしくお願ひ致します。
- 金田 憲治 (164) : 新年あけましておめでとうございます 9月に長野で逢え、11月には信陽舎を訪れ、懐かしさと浦島を味わいました。
- 北原 康夫 (165) : 謹賀新年 舎友会総会での尺八演奏の依頼につきましては、体調を考え、その時に判断したいと思ひます。
- 櫻井 康夫 (166) : 賀正 コロナ禍に振り回され、気がつくと後期高齢者になっていました。 遠くのボールははっきり見えても、足元の小石につまずく有様。 300日以上ウォーキングして体重管理に努めた結果、両足親指の関節が悲鳴をあげています。
- 浅沼 弘愛 (172) : 謹賀新年 昨年は喜寿記念で英国バスロー地方に旅し、前職からの引合で植栽の仕事を再開しました。
- 深津 徹 (184) : 謹んで初春のお慶びを申し上げます 住所誤りをしてしまい遅くなってすみません。 又お会いできる日を楽しみにしています。
- 中村 克己 (190) : 謹んで新年のお慶びを申し上げます 後期高齢者の年齢を迎え、健康年齢を維持するべく日々の運動や筋力維持に努めている毎日ですが、病院通いは外せない日課です。 信陽舎の方はなかなか役に立ちませんが宜しくお願いします。
- 中村與志人 (191) : 迎春 常念岳のますらを振や お元日
- 前澤 孝一 (193) : 初春のお慶びを申し上げます ご無沙汰しております。 本年も宜しくお願い申し上げます。
- 今村 行人 (200) : 先日の総会では準備等色々ご苦勞様でした。 大変楽しく過ごさせていただきました。 原誠君達(昭和45年~46年入寮)と5次会まで行き、しっかり飲むことが出来ました。 写真アルバムを有難うございました。
- 田尻 実 (207) : 謹賀新年 幸多き一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。
- 寺島裕一郎 (217) : 謹賀新年 昨秋は長野市での総会をありがとうございました。
- 原 誠 (220) : 謹賀新年 早いもので東京都自動車会議所勤務は今春8年目に入ります。 ハイブリッド車が先行する日本の環境対応は当会議所の目指す「クルマ社会の健全な発展」に適った動きだと思います。 ライター稼業のほうはリコーの「中小企業応援サイト」を中心に昨年1年間で26社を取材しました。 オーナー社長の泣き笑い人生を聞く楽しみに飽くことはありません。 まだまだ二足のわらじを履き続けたいと思ひます。
- 山口 章裕 (222) : 頌春 謹んで新年のお慶びを申し上げます。 今年も宜しくお願いいたします。
- 杉本 研一 (254) : 謹賀新年 長野での総会、大変お世話になり有難うございました。 本年もよろしくご指導下さる様お願ひ申し上げます。
- 田中 誠一 (262) : 新年おめでとうございます 孫の成長に日々驚かされています。 自分の子供には見過ごしていたところもありますね。
- 田村 裕昭 (264) : 福 のんびり ゆっくり 健やかに ほがらかに 幸多き一年となりますように・・・。
- 福澤 秀志 (266) : 初春のお慶びを申し上げます すばらしい一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。 今年もよろしくお願ひ申し上げます。
- 青柳 淳英 (280) : 謹賀新年 昨年は、5月にコロナ禍が明け、我々のインバウンド事業や広告情報事業もようやく明るい兆しが見えてきましたが、まだまだコロナ禍前の業績には戻っておりません。 本年も昨年同様、仕事中心の日常となりますが、そろそろ公私のバランスも考えながら過ごす一年として行きたいと存じます。 昨年長野では大変お世話になり有難うございました。
- 岩原 伸 (290) : あけましておめでとうございます 退職して二年目、少し肩の力を抜いていこうと思ひます。 見たい、聴きたい、知りたい、好奇心は持ち続けたいと思ひます。 今年はまだ少し仲間(寮時代の)を引っ張り込みたいと思ひます。
- 池野 兼浩 (298) : あけましておめでとうございます 皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。 今年もよろしくお願ひいたします。
- 高野 雅彦 (302) : 初春のお慶びを申し上げます 皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。 なお本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。
- 仁科 圭右 (306) : 辰 謹賀新年 昨年長野ではお疲れさまでした。
- 吉村 信二 (309) : 謹賀新春 微力ながら(寮の運営に)貢献できればと思ひます。 本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。
- 松井 一光 (336) : 謹んで新春のお慶びを申し上げます 本年も宜しくお願い申し上げます。
- 小林 隆 (354) : 謹賀新年 本年も宜しくお願い申し上げます。
- 滝澤 如 (390) : 謹賀新年 年賀状をいただきありがとうございます。 寒い日が続きますのでお身体を大切にお過ごしください。
- 坪木 崇 (408) : 謹賀新年 本年もよろしくお願ひ申し上げます。
- 田中 淳一 (470) : 新春万福 滋賀の仮住まいから、ようやく新居に引っ越すことが出来ました。 引越しのバタバタで新年のご挨拶が遅れ申し訳ありません。 本年も宜しくお願いします。
- 下岡 祥平 (524) : 謹賀新年 新しい年が素晴らしい一年でありますようお祈り申し上げます。 本年もよろしくお願ひいたします。
- 後田健太郎 (593) : あけましておめでとうございます 幸多き一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。 本年もどうぞよろしくお願ひいたします。
- 大石 晃也 (608) : 謹賀新年 昨年は寮の皆様との交流を再会できて嬉しかったです。 本年も宜しくお願い致します。



昭和45~46年入寮組の三次会



小諸・布引観音

## 年賀状等による便り

- 両角 旺大 (610) : 迎春 昨年は舎友会総会に出席できず申し訳ありませんでした。また機会があれば寮の皆様にお会いしたいです。
- 風間 大輝 (644) : 寒中お見舞い申し上げます 年末年始留守にしていたため、ご挨拶が遅れてしまい誠に申し訳ございません。現在、研究・就職活動ともに日々励んでおります。良い結果が残せるように精進いたします。
- 中村 翼 (647) : 昨日 (3月16日)、完全に退寮いたしました。最後までご配慮いただき本当にありがとうございました。信陽舎に入って、たくさんのお話を学ばせていただきました。このような素晴らしい環境をご提供していただき、本当にありがとうございました。信陽舎での4年間で学ばせていただいたことを今春からの社会人生活に活かして精進してまいります。また、信陽舎の今後の発展に少しでも寄与できるよう努力したいと思っておりますので、宜しく願いいたします。最後になりますが、お身体には十分にお気をつけてお過ごし下さい。4年間、本当にありがとうございました。(卒寮して長野県高校教師として赴任する際のLineでの挨拶より)
- 櫻井 陽向 (652) : Happy New Year 2024 年賀状をありがとうございます。私は未だ勉強の毎日です。福與さんや信陽舎にとってよい1年となりますよう祈っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
- 大澤 結人 (674) : HAPPY NEW YEAR 2024 旧年中は大変お世話になり有難うございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。帰省日時の関係で返事が遅れてしまい申し訳ありません。寮の方々とも時々仲良くさせていただいています。

## 喪中のご挨拶

### 喪中につき年末年始のご挨拶を失礼させていただきます

- 塚田 浩一 (S1) 塚田 泰史 (625) : 本年3月に母(泰史さんの祖母)あや子が90歳にて永眠いたしました。
- 宮川 章義 (14) : 実兄 下島敏彦が6月25日に89歳で永眠いたしました。
- 中田 茂 (102) : 路(奥様)の長兄 千葉恭夫が11月に永眠いたしました。
- 竹村 治恭 (140) : 本年5月に母 古田弥生 が98歳にて永眠いたしました。
- 五島 久揮 (176) : 今年2月 正子(奥様)の兄 吉田征市が80歳で永眠いたしました。

## 寮生保護者からの便り

- 市澤 文太 (646) 君の保護者(圭治・富美) : Happy New Year いつもお世話になり有難うございます。文太の就職が内定し、国家試験、卒業が近づいてきました。コロナと大学生活が同時に始まり心配しましたが、皆様のお蔭で無事に過ごせたことを心から感謝いたします。寮生活もあと残り少しですが、どうぞよろしくお願い致します。
- 佐藤 大地 (661) 君の保護者(勉) : 賀正 福與様をはじめ信陽舎の皆様、長谷川様には息子・大地がいつもお世話になりありがとうございます。今年も宜しく願い致します。
- 永原 拓実 (665) 君の保護者(幸一) : 明けましておめでとうございます (拓実)も大学入学からこれまで、充実した日々を送れたことと思います。(2年間)大変お世話になり有難うございました。
- 児玉 光輝 (666) 君の保護者(隆雄・弥生) : 息子・光輝が今まで病気や怪我がなく過ごせてくれたことに感謝しております。(喪中八ガキにて)
- 田畑 尚大 (669) 君の保護者(篤) : 賀正 尚大が大変お世話になっております。昨年、足を怪我した時には、長谷川寮母さんをはじめ寮の皆さんに助けていただき、本当にありがとうございました。入寮させていただいて本当に良かったです。今年もよろしくお願いします。
- 松井 一憲 (670) 君の保護者(一光) : 謹んで新春のお慶びを申し上げます。一憲が大変お世話になっております。本年も宜しくご指導を賜りますようお願い申し上げます。
- 鈴木 智晴 (673) 君の保護者(和男・明子) : 謹賀新年 智晴がお世話になり有難うございます。本年度もよろしくお願いします。
- 青木創汰朗 (675) 君の保護者(隆弘) : あけましておめでとうございます 本年もよろしくお願い致します。

## 故郷信州の自然 《北信の山と湖》



黒姫山



野尻湖



妙高山

高橋邦芳さん(舎友No.327)経営・高橋助作酒造店の純米大吟醸”松尾”国内三冠受賞！

信州の新しい酒米”山恵錦(さんけいにしき)”100%使用の銘酒で数々の金賞受賞！



北信五岳(戸隠・飯綱・黒姫・妙高・斑尾)に囲まれた上水内郡信濃町で1875年(明治8年)に創業した醸造元・高橋助作酒造店の5代目が信陽舎友の高橋邦芳さんである。創業148年の老舗の酒造りを担う高橋さんは、地元(信濃町、戸隠地域)の農家に契約栽培してもらった信州の新しい酒米”山恵錦”を100%使用した日本酒を醸造。その品種登録中に純米大吟醸”松尾”で異例の国内三冠を受賞するなど数々の賞を受賞。

【三冠】全国新酒鑑評会=金賞、関東信越国税局=優秀賞、長野県清酒品評会=知事賞(2020年、2022年の2度受賞)

《International Wine Challenge(ロンドン開催)》純米大吟醸部門”金賞(Gold)”受賞、”銀賞(Silver)”8回受賞。

《Kura Master(フランス開催)》純米吟醸”戸隠”で”金賞”受賞。純米大吟醸”松尾”で”プラチナ賞”(2020)、純米吟醸”斑尾”で”プラチナ賞”(2019)、「斑尾」”金賞”(2018、21、22)、「戸隠」”金賞”(2017、22、23)。

■お問い合わせ：株式会社 高橋助作酒造店 〒389-1313 長野県上水内郡信濃町大字古間856-1

電話：026-255-2007 FAX：026-255-3366 E-mail：kura@matsuwo.co.jp URL：http://www.matsuwo.co.jp

【高橋助作酒造店 代表的品目紹介】

松尾 Premium	純米大吟醸	山恵錦(信濃町産)100%
松牡丹	純米大吟醸	山恵錦(信濃町産)100%
戸隠	純米吟醸	山恵錦(信州長野産)100%
斑尾	純米吟醸	山恵錦(斑尾山麓産)100%
荒瀬原	純米吟醸	山恵錦(荒瀬原産)100%
信州長野	純米吟醸	山恵錦(長野県産)100%
上水内	純米吟醸	山恵錦(上水内郡産)100%
信乃大地	Liqueur	黒姫高原ヨーグルトの酒
信乃大地	Liqueur	信州リンゴの酒、信州カシスの酒
焼酎 松尾	連続式蒸留酒	さとうきび糖蜜、米



令和5年度金賞受賞  
”松尾 Premium”



純米吟醸  
”MADARAO 斑尾”

舎友著作作品紹介

『パリはバスに乗って』 上松三治彦(舎友No.108)



2010年3月発行

著者の上松三治彦さんは、1963年に信陽舎入寮。中央大学法学部在学中に日本料理の世界に足を踏み入れ、1974年、パリの日本レストラン「たから」で働くことになったため、大学をやめて渡仏。以来、30余年パリで日本料理店に勤務。2010年に帰国。

《読んでるだけでは物足りない。さあ、スニーカーを履いてパリに行こう!》

「バスは季節の中を走る。マロニエの花、金茶に色づいたプラタナスの枯れ葉、水位の上ったセーヌ川・・・(中略)・・・これらの光景をバスの中から楽しむことができるのである。」

「私も何年後に、この本を持って旅行者としてパリの街を歩き回ってみよう・・・(中略)・・・数年後の姿を想像して胸を膨らませている。スニーカーを履き、リュックを背負い、杖をつき、ボロボロになった『パリはバスに乗って』を持った年を取った東洋人を見かけたなら、それは私である。」

～パリ暮らし30余年の著者が日常の生活感も交えながら語る、パリ市歴史探訪の案内書～

『雪垂り(ゆきしずり)』 風越 丈(松山順治 舎友No.158)



2023年2月発行

著者の風越丈(本名・松山順治)さんは、1966年に信陽舎入寮。青山学院大学経済学部卒。

著者曰く、「さて、私、コロナ禍で外出もままならない時期、とあるいきさつで創作小説を書くことになりました。当初は本当に書けるのだろうか?と半信半疑でしたが、書き始めると意外にも筆が進み、書き終わると何だか愛おしくなって、無謀

にも私家本の製作に至りました。」《お便りより》

「生まれて初めて創作長編小説を書き始め、完結するまで一年余を要しましたが得難い経験となりました。・・・(中略)・・・内容はごく一般的なテーマ「若き日の追憶と新しい未来への旅立ち」というもので、私小説の域を脱していませんが、書いているうちに、昔の自分と出会って話をしているような懐かしさが込み上げてきました。主人公の健一は私の分身であり、エールを送りたい気分です。ただ、健一のすべてが私ではありません。作中の美雪や薫それに麻里のような女性が実際にいたのか?と問われても、今では幻となってしまったとしか答えようがありません。」《あとがき雑感より》

## 3階屋上の大掃除 《 27年間の垢を落とす 》

7月29日(土)、建物落成以来27年間風雨にさらされてきた3階屋上の大掃除を実施した。午後2時、参加できる寮生9名と坪木常務理事、福興の11名が2階食堂に集合した。まず、坪木常務から本日の作業の内容や作業分担についての説明のあと、酷暑の中での作業なので、こまめに休憩し、冷たい麦茶を補給しながら行うよう注意があった後作業に入った。

主な作業は、27年間風雨にさらされて溜まった泥や苔を除去した後、高圧洗浄機でコンクリ面を洗い流す作業と屋上に設置してある5カ所の天窗(トップライト)の清掃と防水処置の作業であるが、ボイラーや給湯システムの配管が縦横に張り巡らされているため、配管の下の狭い箇所が多く、泥や苔を除去する作業は難航したが、午後3時過ぎに除去作業は終了。取り除いた泥や苔の量は40L入りゴミ袋4袋分、廃材、プラゴミなどが1袋となった。除去作業が終了した後、高圧洗浄機を使って屋上全面の洗浄作業を寮生が交代で実施。また、天窗(トップライト)の洗浄と防水措置作業は坪木常務の主導で進めた。手の空いた寮生たちは、1階の自転車置場の周りの花壇の雑草除去作業を行ない、午後4時40分に全ての作業が終了となった。シャワーで汗を流した後、長谷川寮母さんが準備してくれた焼き肉バーベキューで慰労会となった。寮生の永原君に冷えたビールの買い出しをしてもらい、長谷川さん差し入れの茄子の浅漬け、イカの唐揚げ、鶏と牛肉の鉄板焼きを肴に冷えたビールで乾杯。

皆で協力しながら汗を流した後のキューツと飲む一杯は格別だ。皆の笑顔には共同作業の醍醐味と満足感が漂っていた。夏休みで帰郷中の寮生以外で作業に参加できなかった寮生には、翌30日に2階～4階のトイレをを高圧洗浄機を使って掃除してもらうことになった。(福興記)



## 障害児童との微笑ましい交流



武蔵野市障害児放課後デイサービス「パレット」から、夏休み中にアルバイトで障害児童の面倒を見てもらえないかとの提案に応じて、酷暑が続く8月2日の午後、寮生の永原拓実君と青木創汰朗君が児童たちのプール遊びを手伝っていた。様々な障害を持った子供たちだが、キャッキヤと嬉しそうにはしゃぐ無邪気な児童たちの相手をしている寮生たちを見るのはなんとも微笑ましく、これからの多様な共生社会を生きていく意味で普通の学生では得られない信陽舎ならではの貴重な体験だ、彼らにとってこの経験は社会に出てから必ず生きてくると確信した次第です。(運営記録より)



## 秋のスポーツ大会 《 卓球 & バドミントン 》

10月7日(土)午後1時30分～3時30分、武蔵野市西部コミュニティセンター地階の体育館を借りて卓球とバドミントン競技で汗を流した。参加者は寮生16名に中村克己常務理事と福興の18名。卓球部門とバドミントン部門にそれぞれ9名づつに分かれてトーナメントを行った結果、優勝者はどちらも高校部活動での経験者が優勝(卓球は平出拓也、バドミントンは松崎優大)となったが、健闘したのは50歳という歳の差をもとめせずコート走り回り、バドミントン部門で3位Tとなった御年75歳の中村理事であった。シャトルやボールを嬉々として追いかけるエネルギーを発散する寮生たちの表情には、普段の寮生活では見られない輝きがあり、皆で共に汗を流す機会の大切さを再確認した次第。

大会終了後、寮に戻りシャワーや風呂で汗を流した後、食堂に集まると、普段寮の館内清掃をいただいているシルバー清掃員の高橋知子さんが秋の味覚の栗を持参してくれた上に、厨房で長谷川さんを手伝って栗ご飯や鶏のから揚げを作ってくれていた。思えば今回のスポーツ大会の会場を紹介してくれたのも高橋知子さんであり、本当に有難いもので皆で感謝申し上げた。

午後4時30分、長谷川寮母さんが朝から準備してくれた美味しい料理を肴に楽しい打上げ会が始まった。成績発表では幹事が用意してくれた賞品の授与があった。まず各部門の優勝者に優勝賞品が、つづく「理事長賞」は、10入りの海賊ジョッキとお酒が賞品で卓球部門で3位Tとなるとともに寮で一番の大酒飲みを自任する永原拓実君が受賞。早速、賞品の10入り海賊ジョッキでビールを一気に飲み干して大喝采を浴びた。

その他「珍プレー・敢闘賞」は徳川輝多君、「頑張りま賞」は最も汗をかかなかった竹元大貴君が受賞。そして最も注目された「総合MVP賞」の賞品は、一カ月間の風呂掃除当番免除である。誰もが欲しがるとあって公平を期してジャンケンでの勝ち抜いた者となった。みんな真剣である。

力が入った勝負の結果、栄えあるMVP賞を勝ち取った奥原晴琉君は、満面笑みでガッツポーズ!! 宴の途中、先輩舎友の大石晃也君が高級シュークリームケーキを持ってお祝に駆けつけてくれた。とても高級なシュークリームケーキだが個数が10個ということで、ビンゴゲームでの争奪戦となり一喜一憂で大変な盛り上がりとなった。午後8時、全員で記念写真を撮って楽しかった打上げ会はお開きとなった。(運営記録より)



## 桜堤ケアハウスの地域祭「ウェルフェア・フェスティバル in 桜堤」

令和5年11月3日(金) 午前10時～午後3時 於:春秋館

桜堤ケアハウスの秋の恒例行事として毎年11月3日に行っていた「介護と福祉の地域祭」はコロナ禍のため過去3年間中止していたが、今年は4年ぶりに『ウェルフェア・フェスティバル in 桜堤』として開催することになった。以前は桜堤ケアハウスの単独開催だったが、今年は桜堤地区にある他の福祉施設と合同で介護と福祉をテーマに地域の皆さんとの交流を通して互いに支え合い、助け合える地域づくりを目指して実施。具体的には、桜堤マップを作成し、スタンプラリー形式で福祉施設巡りをする企画で開催された。寮生たちは、大学の秋の文化祭等と重なったため、午前の準備や午後の片付け等、参加できる時間だけでも手分けして参加することになった。

午前8時30分、春秋館1階のピロティに寮生10名が集合、ケアハウス職員の指示に従い、信州産リンゴや野菜の販売屋台の設営や桜野小学校の吹奏楽班の演奏のための会場の設営等を行った。今年は、池野常務理事の尽力で信州リンゴ360個の他、16種類の野菜類を送ってもらって販売したが、武蔵野市の高齢者支援課の職員の方々も応援に駆け付け販売をお手伝いいただいた。



朝9時から信州産リンゴと野菜の販売露店や桜野小学校吹奏楽班演奏会場設営などを手伝う寮生たち

午前10時、桜野小学校の吹奏楽班による演奏が始まる頃になると、ケアハウスのお年寄りや隣の高齢者施設のお年寄り、近隣地区の住民などが続々と集まってきて、春秋館玄関前のピロティは人で溢れかえり、子供たちの素晴らしい演奏を楽しんだ。



桜野小学校吹奏楽班の演奏を聴くため福祉施設の高齢者や近隣住民が続々と集まってきた

午前11時、長野県直送の信州リンゴと新鮮野菜の販売開始の時間になるとすでに販売所(信陽舎玄関前)には長蛇の列ができていた。リンゴは一人5個までに制限し、野菜は早い者勝ちで販売を開始したが1時間足らずの正午前には全て完売となってしまった。



午前10時、信州リンゴと野菜の販売開始とともに長蛇の列ができ、1時間足らずで全て完売！

松下玲子市長来訪

午後1時30分、松下玲子武蔵野市長が視察に訪れた時には、信州リンゴや野菜だけでなく、ケアハウスが販売した肉まんや焼きそば、武蔵野大学の学生がキッチンカーで販売したビビンバ丼も全て完売。残っていたのは子供達用に開いた駄菓子店のお菓子だけとなっていた。午後2時45分、寮生たちもケアハウスの職員や市の職員とともに後片付けを手伝い、午後3時、「ウェルフェア・フェスティバル」は大盛況のうちに終了となった。

このフェスティバルには松下玲子武蔵野市長をはじめ市の健康福祉部の多くの職員が応援参加されていたのを見るにつけ、市を挙げて健康福祉に力を入れていることが実感できた。午後4時、長谷川寮母さん手作りの絶品ビーフシチューと松茸ご飯、焼き肉で慰労会を行った。(福興記)

## 令和5年12月27日 寮生の藤原改君 ケアハウス食堂にてソロコンサートを披露



## 令和5年度 寮祭 開催

令和5年(2023年)11月25日(土)午後6時～午後8時 信陽舎 2階食堂

令和5年度の寮祭は、寮生18名に理事・監事5名、評議員2名、先輩舎友1名、長谷川寮母さんの27名とケアハウスから4年ぶりに村田施設長と小松生活指導員の2名の参加を得て総勢29名での開催となった。朝早くから厨房では長谷川寮母さんが豪華料理の調理を始め、食堂では寮生たちがテーブルや椅子の配置替え、配膳の準備、食料の買い出しにと精を出していた。午後2時、2階のテラスでは馬橋寮時代から恒例となっている五平餅を焼く香ばしい匂いが漂ってきた。信陽舎は1906年(明治39年)の創立以来117年になるが、途中関東大震災や太平洋戦争の東京大空襲等により計13年間の空白時代があるため、今年の寮祭はおそらく104回目ということになるだろう。1世紀を超える伝統に感慨もひとしおである。ただし、大塚台寮や馬橋寮のころは、「記念祭」(創立記念)と言って、「寮祭」と呼ぶようになったのは、武蔵境寮からのようだ。

午後6時、参加寮生や役員、評議員、先輩舎友等が会場の席に着いた後、桜堤ケアハウスの村田施設長と小松指導員が入場されると参加者一同拍手でお迎えをして令和5年度の寮祭が始まった。

副寮長の佐藤大地君、鈴木智晴君の司会進行で開会、まず永原拓実君が寮長挨拶で「桜堤ケアハウス様からビール1ダースとお菓子やお祝金を頂戴し、理事や評議員、先輩舎友からはお酒などの飲み物を差し入れていただき有難うございました。また、何日も前から準備して豪華な料理を提供して下さった長谷川寮母さんには心より感謝します」と述べると、参加者一同、まだ厨房で働いている長谷川さんに向かって「有難うございます」とお礼の言葉を投げ掛けた。

理事長挨拶では、「この寮生活の4年の間に皆さんの思考回路を”天動説”から”地動説”に切り換えてください。日々の言動において、”自分のため”から”みんなのため”へと考え方、モノの見方を切り換えて社会に出て行ってほしい。この切り替えができないまま社会に出ていくと、必ず挫折する。この切り換えは難しく簡単ではない。人間は誰も、自分が一番可愛いくて自分に甘いからだ。社会は支え合う仕組みだから人間関係で成り立っている。人間関係において鍵となるのが”信用・信頼”である。他人に信頼され、信用されなかったらすべてがうまく運ばず失敗する。信陽舎の4年間は”信用・信頼”を得るための訓練の場ある。本日出席されている役員、評議員、先輩の皆さんは信陽舎での4年間でその切り換えが出来て社会で成功した方々ですからお話を伺い、その教訓から学んでいただきたい」と述べた。

続いて桜堤ケアハウスの村田施設長がマイクを握り、「11月3日のケアハウス主催の”ウェルフェア・フェスティバル”では、福興理事長をはじめ池野理事や大勢の寮生さんにお手伝いいただき、信州リンゴと新鮮な野菜の手配や販売などをしていた

いただき有難うございました。本日は職員だけですが4年ぶりに寮祭に参加させていただきましたが、これからはお互いの交流を少しずつ再会していきたいと思います。本日はお招きいただき有難うございました」とお祝を述べられた。次に池野兼浩常務理事による乾杯の挨拶があり、楽しい宴が始まった。

各テーブルには、刺身、唐揚げ、オードブル、五平餅、焼きそば等豪華な料理が並び、さらには松茸ご飯、松茸のお吸い物、魚のムニエル等長谷川寮母さんの心のこもった料理が次々と登場、寮生たちによるお客様(ケアハウス職員、役員・評議員・先輩舎友等)への飲み物のお酌や食べ物の給仕など、こまめなおもてなしには信陽舎の家庭的な雰囲気がにじみ出ていて微笑ましく思った。余興では、藤原改君がピアノ演奏で歌を披露、特にその素晴らしい歌声には村田施設長や小松生活指導員たちが感動し、機会があれば卒寮する前にケアハウスの入居者の前で披露して欲しいと頼み込んでいた。鈴木智晴君と奥原晴琉君のコンビによるクイズ余興も大受けで会場を盛り上げていた。

楽しい宴もあつという間に過ぎてゆき、午後8時、全員で記念写真を撮影して閉宴となった。(福興記)



## 感動を呼んだ卒寮生送別会 令和6年3月2日(土)

今年の卒寮生送別会は、中途退寮者が多かったり期末休暇中の短期留学等で参加できない寮生もいて例年より参加寮生が少ないため、長谷川寮母さんの提案で寮生たちだけで予算の範囲内で料理の内容や食材の調達から調理、配膳まで全て準備することになった。寮の行事で、寮母さんが何の手助けも助言もせず寮生だけで一切を準備するというのは前代未聞で信陽舎始まって以来のことではないか。

参加者は、卒寮生2名(藤原改君は自らがソリストを務める演奏会のリハーサルと重なり欠席)を含めた寮生が12名で理事や先輩舎友、ケアハウスの村田施設長と外山生活指導員、長谷川さんなど招待者が11名の計23名であった。午後2時過ぎには卒寮生を除く10名の寮生たちが食材の買い出し組と調理や盛り付け組などに分かれて準備を始めた。寮生たちは衛生面に配慮して頭にビニール帽子、手にはビニール手袋を着用と完全装備で働いていた。

午後5時過ぎ、招待者の理事や先輩舎友たちが集まってきた頃には、各テーブルには、オードブル、お寿司、ピザ、焼きそば、焼き鳥、豚汁、ソーセージ、枝豆等々と期待以上の料理が並んでいた。殆んどは出来合いの惣菜を調達したようだが、焼きそばや焼き鳥、ソーセージなどは自分たちで鉄板で焼いて調理したようだ。

午後6時、卒寮生の市澤文太君と中村翼君が大きな拍手に迎えられて入場し上座についた。鈴木智晴副寮長の司会、青木創汰朗副寮長の開会宣言、太田悠寮長の歓迎の挨拶と続き、理事長挨拶では、これまでの寮会講話を9冊子にまとめた講話集が記念に贈呈された。ケアハウスの村田施設長と外山指導員からは、卒寮生の3名には大変お世話になったので感謝の気持ちですと入居者たち手作りの素敵なプレゼントが渡された。乾杯の挨拶では筑波大学名誉教授で理事の林史典様がマイクを握り、概要次のように話された。私たちの生活は、日々思案と決断の繰り返しであるが、物事を判断したり行動を決断するときは、目先の狭い視点で判断しないで、広い複眼的な視点、将来を見据えた長期的な視野でもって判断してもらいたいと貴重な教訓となるエールを送られ、参加者全員で乾杯した。

宴半ば、後輩寮生たちから卒寮生への記念品(ネクタイ)が贈呈され、長谷川寮母さんからは二人の名前入りの特製ボールペンとUSBメモリーがプレゼントされた。そして卒寮生たちから在寮生たちに「食堂の寮生用オープンレンジにはいつも順番待ちで並ぶので、もう一台あれば便利だろう」とオープンレンジが置き土産として贈呈された。

最後の卒寮生の答辞では、中村翼君が「コロナ禍で大学の友達とはできなかった代わりに寮の仲間達と楽しく充実した生活を送ることができた。長谷川さんから厳しいご指導を頂いたお陰で人間的に成長できたと実感しており、この経験をこれからの人生の貴重な財産として活かしていきたい」と感謝とお礼の気持ちを語った。続いて市澤文太君が「後輩寮生たちに言っておきたいことは、普段、自分たちが清潔な環境の下で快適な生活が送れていることを当たり前のように思っているが、それは長谷川寮母さんや理事の皆さんの地道な努力とご指導のお陰であるということを決して忘れないで欲しい。長谷川さんや理事、ケアハウスの方々等周りの皆さんへの感謝の気持ちを日々忘れないように過ごして欲しいということです。快適で充実した思い出深い4年間を本当に有難うございました」と最後は言葉を詰まらせながら話すと、長谷川寮母さんをはじめ後輩寮生たちも感動して涙ぐんでいた。

午後8時10分、先輩舎友の山崎達也君のギター伴奏で寮歌と信濃の国を斉唱したあと、全員で記念写真を撮影し、午後8時20分に素晴らしい送別会はお開きとなった。帰りに、長谷川寮母さんは「文太や翼の言葉で日々の苦労が報われました」と感動されていた。寮生全員の見送りを受けて寮を後にしたが、これまで見てきた送別会のなかで、これほど感動したのは初めてのことで、中村理事、池野理事との武蔵境駅へのバスの中でも感動が冷めやらず「素晴らしい寮生たちだ」と語り合った次第である。(運営記録より)



料理の盛り付けに精を出す寮生



桜堤ケアハウスさんからプレゼント



林理事長による乾杯挨拶



後輩からのネクタイ



長谷川さんからの記念品



卒寮生から後輩へ記念品



中村翼君の答辞



市澤文太君の答辞



記念写真

## 女子学生受入れを検討 ～ 他県人寮の現状

全国学生寮協議会に加盟する県人寮は、最盛期には60以上あったが現在は41に減少した。地方から首都圏の大学等に進学する男子学生に安価な住まいを提供してきたが、少子化による定員割れで閉鎖せざるを得なくなった寮も多い。長野県人寮でも信濃寮が2021年3月に閉鎖になった。これまでの県人寮が受け入れてきたのは男子学生だったが、少子化の進行と女子の大学進学率の上昇、ジェンダーフリーの時代背景などにより女子学生に門戸を開く県人寮が増えつつあり、マスコミ(2023年12月27日付朝日新聞、2024年2月20日付読売新聞)も注目し取り上げている。

女子学生4年制大学進学率	
時期	進学率
1954年	2.4%
2023年	54.5%

首都圏(1都3県)以外から東京の大学への進学者数			
性別	2003年	2023年	増減
男子学生	27,000人	22,000人	5,000人(19%)減
女子学生	18,000人	19,000人	1,000人(6%)増

女子学生受入寮	
時期	件数
2013年	7
2023年	15

女子の4年制大学への進学率は、1954年の2.4%から2023年の54.5%と70年で飛躍的に増加した。首都圏以外から東京の大学への進学者数は、直近20年間で男子は5,000人(19%)減少したが、逆に女子は1,000人(6%)増加し、男女同数に近づいてきている。女子を受け入れている寮は、2013年時点で7件しかなかったが、2023年は15件と10年間で倍増した。(上記新聞記事より)

2017年以降 女子学生を受け入れを開始した県人寮					
寮名	県名	運営法人	所在地	寮費等	定員
松濤学舎	佐賀	公益財団法人 佐賀育英会	東京都小金井市	寮費70,000円(4.6万円+食事2.4万円)	47名
沖英寮(女子寮)	沖縄	(公財)県国際交流・人材育成財団	世田谷区豪徳寺	寮費60,800円(2食付、但し日曜、祝日除く)	20名
有斐学舎	熊本	公益財団法人 肥後奨学会	東京都小平市	寮費49,500円(2食付)	20名
小千谷学生寮	新潟	公益財団法人 小千谷奨学会	杉並区井草	寮費65,500円(2食付、日曜、祝日除く、電気料込)	25名
久敬社塾	佐賀	公益財団法人 久敬社	川崎市麻生区	寮費55,000円(2食付、日曜、祝日除く)	40名

現在女子学生受入れを検討中の県人寮					
寮名	県名	運営法人	所在地	寮費等	定員
青雲寮	富山	公益財団法人 富山県学生寮	東京都府中市	寮費46,000円(2食付、日曜、祝日除く)	64名
石川富山明倫学館	石川 富山	公益財団法人 加越能育英社	文京区小石川	寮費65,000円(2食付、日曜、祝日除く、電気料込)	120名
東京土佐寮	高知	公益財団法人 土佐育英協会	東京都三鷹市	寮費60,400円(2食付、日曜、祝日除く、電気料・自治会費込)	70名

### 信陽舎理事会にて女子学生受入れの検討開始

令和6年3月開催理事会にてこの件につき話し合った結果、現寮舎で女子専用の個室、浴室、トイレ・洗面所等への改装が技術的に可能であれば、2030年に予定されている春秋館の大規模改修の折に工事を実施し、2031年度受入れ開始を目標に検討していくことになった。

<b>🏠 お便り大歓迎! 🏠</b>	<b>📞 舎友名簿に関するお願い 📞</b>								
常時、舎友の皆さんの便りを募集しております。随時受付を行っていますので遠慮なく下記事務局までどしどしお便りをお寄せ下さい。	舎友会では、個人情報保護の観点から「舎友名簿」の発行は行っていません。同期会又は各地区舎友会等を企画される折に、該当する舎友の連絡先を必要とされる場合は、お手数ですが下記事務局までお問合せ下さい。								
<b>《 会報「武蔵野」編集委員 》</b>	文中挿入の挿絵(版画・スケッチ)等の作画は福與卓臣								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>福田 璋夫(116)</td> <td>福與 卓臣(117)</td> </tr> <tr> <td>深澤 勝吉(135)</td> <td>五島 久揮(176)</td> </tr> <tr> <td>原 誠(220)</td> <td>仁科 圭右(306)</td> </tr> <tr> <td>田中 淳一(470)</td> <td>岩原 優(580)</td> </tr> </table>	福田 璋夫(116)	福與 卓臣(117)	深澤 勝吉(135)	五島 久揮(176)	原 誠(220)	仁科 圭右(306)	田中 淳一(470)	岩原 優(580)	発行人：林 史典(会長) 事務局：福與卓臣(事務局長) 〒225-0026 横浜市青葉区もみの木台 34-8 ☎(045) 902-2575 携帯☎090-9841-6349 E-mail: tof2943@citrus.ocn.ne.jp
福田 璋夫(116)	福與 卓臣(117)								
深澤 勝吉(135)	五島 久揮(176)								
原 誠(220)	仁科 圭右(306)								
田中 淳一(470)	岩原 優(580)								